

令和5年度 第1回 副業セミナー 開催レポート

○日時 令和5年6月23日（金） 13:30～15:00

○会場 いわき産業創造館 IT研修室（福島県いわき市平字田町120 LATOV6階）、
オンライン（Zoom）

○参加者 24名（会場7名、オンライン17名）

○ゲスト

- ・県内事業者：株式会社サンワ電装 代表取締役 大津 健一 様
- ・副業人材：フリーランスコンサルタント 深谷 崇 様

○内容

いわき産業創造館 IT研修室にて、「県内事業者向け令和5年度第1回 副業セミナー」を開催しました。

外部人材を活用したいが正規採用するにはコストがかかる、専門スキルを持つ人材を起用したいが適切な人材からの応募がないなど、悩みを抱える経営者が副業人材をどのように活用できるかを学ぶ内容として実施しました。

はじめに、主催者である福島県からあいさつをさせていただき、その後事務局から福島県副業人材マッチングサイトの説明を行い、昨今の県内での採用・雇用環境や副業人材の動き、令和2年度からのプロジェクト実績についてご紹介させていただきました。



次に、福島県副業人材マッチングサイト利用体験談として、いわき市の株式会社サンワ電装で代表取締役を務める大津さんにお話を伺いました。

サンワ電装は、工場内に多数ある計測機器を設置する「計装工事」、電気設備を動かすための電源ケーブルを敷設・接続する「電気工事」、人工知能を利用し無線で装置を接続する「AI・IoTソリューション」の3つの事業を中心に行っています。新規事業として、IoTを活用した予兆保全サービス・製品の開発を検討するにあたり、ハードとソフトをつなぐサブPMを採用したいと考えていました。

そこで、福島県のマッチングサイトにて募集を行ったところ、実際に複数名から応募があり、面談の中で熱意が一致しそうだと感じることのできた方と契約しました。その方が、福島県出身で現在は岡山県でIT企業に勤務する傍ら、副業でフリーランスエンジニアとして多数の事業を手がける深谷崇さんでした。深谷さんは、出身地である福島県に貢献したいという思いがあり、副業プロジェクトに興味を持ち応募されたということです。


現在も業務が進行中の事例ということや、秘匿性の高い情報が多いため、現段階でのプロジェクトの進行状況を中心にご説明いただきました。本新規事業は深谷さんの他にも多数の外部人材を投入し、20人以上の規模で進行されているとのことですが、その中でも深谷さんは、本プロジェクトのPMとして全体管理を行っています。様々な大手企業のプロジェクトに関わってきた経験豊かな深谷さんだからこそできるアドバイス等、壁打ち相手として大津社長の右腕役を担っています。

株式会社サンワ電装 (いわき市)

プロジェクト概要
IoTを活用した予兆保全サービスを開発するため、ハードとソフトをつなぐアドバイザーを募集します！

事業課題
新規事業としてIoTソリューションを活用した、新サービス・製品を開発しております。具体的には、工場で多数稼働しているモーターなどの状態を一目で確認し、機器のメンテナンス＝予兆保全システムに関するものです。現場の機器に設置するセンサーシステムを大学研究室とともに進めて頂けるIoTの知識を持った方を募集します。

副業人材に求めたスキル
・IoTに関する知識、関心
・データ処理に関する知識、関心
※すべての分野の知見をお持ちでなくともご関心があれば大丈夫



ニッポンの化学プラントを強くする

30th

会場全体

会場カメラ

司会者

パ

企業情報

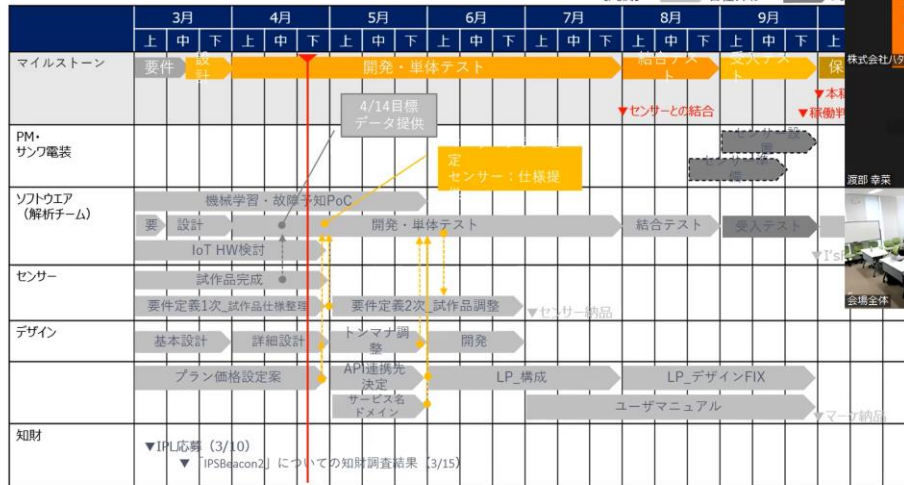
業 種 建設業（電気工事業）（パナソニック）事業福島県

代表者名 代表取締役社長 大津 健一

事業内容
・計装工事、電気工事、IoTソリューション

成果について

- 4月末までに複数チーム間作業があるため、期限や情報提供の形式の認識齟齬が無いよう、連携を密に



最後に、オンライン講話として、パーソルプロセス&テクノロジー株式会社ワークスイッチ事業部の越境促進アドバイザーを務めている宮崎将さんから「複業ニーズ調査からみる、複業人材活用セミナー ～経験・スキルを活かすだけではない？複業人材の主体的な挑戦を受入れる企業のポイントとは？」をテーマにお話いただきました。

宮崎さんは企業に勤務する傍ら、複業としてNPO法人二枚目の名刺に所属し、プロジェクトデザイナーとして社会人の社会活動参画を促すなど、複業支援に取り組んでいる方です。今回は副業者を受け入れる事業者だけでなく、実際に副業を行う方に向け、複業人材活用の最新トレンド、企業側の複業人材受け入れのポイントなどについてお話いただきました。

実際に参加者に対して質問を投げかける形式で、自分が複業者の立場であった場合、逆に受け入れる事業者の立場であった場合として、双方の立場ごとの目的と、そこに生じるズレについて分かりやすく説明いただきました。

企業が実際に複業人材を受け入れるにあたっては、複業人材がどんな想いを持って臨んでいるかを把握した上で、どのように複業人材へ接するべきかを考えることが重要とのことでした。

最後にまとめとして、人材活用において、副業が「組織の文化」をより発展させるとのこと、単なるリソースとして人材を活用するのではなく、その組織の文化と副業者が持つ文化が混ざり合うことでさらに発展していくのではないかとということをお話いただきました。

**オンライン
講話**

複業ニーズ調査からみる、複業人材活用セミナー

～経験・スキルを活かすだけではない？ 複業人材の主体的な挑戦を受け入れる企業のポイントとは？～


多角的なキャリアを活かし、積極的に社会人の社会活動参画や複業促進に取り組んでいる宮崎氏をお招きし、以下の内容を解説していただきます。



- ✓ 最新調査を参考にした、複業したい人材のインサイトとトレンド解説
- ✓ 複業人材が業務を通じて求めていることは？
- ✓ 複業人材にとって魅力的な求人への切り出し方
- ✓ 企業側の複業人材受け入れのポイント

パーソルプロセス&テクノロジー株式会社
ワークスイッチ事業部 越境促進アドバイザー

宮崎 将 さん

【プロフィール】
大学卒業後、教育業界に入社。その後事業推進・新規事業立ち上げ・人事企画を担当。2013年より株式会社インテリジェンス(現:パーソルキャリア株式会社)へ入社し、公共事業部企画運営担当として、就業支援・地方創生・キャリア支援・働き方改革がテーマの支援事業を歴任。また複業としてNPO法人二枚目の名刺に所属し、プロジェクトデザイナーとして社会人の社会活動参画を促すべく、企業・自治体等とアライアンスを担当。2020年1月より複業によるキャリア自律支援サービス「プロテア」に従事し、パーソルグループのDI&Eコミュニティ「Co-door(コドウ)」にて、グループ社員の複業促進のためのコミュニティを運営。



■ 宮崎 将

会場全体

会場カメラ

深谷 崇

株式会社アセラ 東條

株式会社ハタル 鈴木

丸山 耕真

丸亀 耕平

栗山 結美

鈴木 健太

終了後の参加者アンケートでは、

「副業から本業に転身した身なので、副業に対する目的など、共感する部分が多くありました」「今回のような副業人材による企業課題解決のリアル事例を次回も希望します」などの感想をいただきました。

セミナーにご参加いただいた皆さんは、マッチングサイト利用者の体験談に熱心に耳を傾けており、副業に対する関心の高さがうかがえました。

以上